

【Q & A】



1) 小学生の通学はどうなりますか？

⇒集団登校班長は5年生に任せますが、6年生も途中までは集団登校に加わり、分岐点で分かれて6年生のみ中学校へ向かって登校します。

2) 学校給食はどうなるのですか？

⇒今後は、中学生と同じ佐世保市学校給食センターから配送される給食となります。給食費については、小学生と同額を想定しています。中学校が行事等で給食が停止される場合も、センターの計らいで小学校6年生分は実施していただけることになっています。

3) 小学校6年生で使用する備品等は確保できるのでしょうか？

⇒理科室は小学6年生専用ですので、実験や観察で使用する備品や薬品等は心配ありません。また、体育用具や図書等で必要なものについては、移管もしくは新規購入で対応します。

4) 子どもは、中学生がこわいと言っていますが大丈夫でしょうか？

⇒どこの学校でも、小学生が中学校に進学する際に聞こえてくる不安です。しかし、広田の学区は一小一中から成り立っており先輩・後輩で顔見知りのせいかむしろ仲がよいと思っています。実際、広田中学校では、上級生・下級生の間で大きな問題は発生していません。広田中学校の生徒はすばらしい生徒ばかりです。ご安心ください。

5) 先生方が今まで以上に多忙になり、子どもたちとゆっくり向き合う時間が少なくなるのではないかと心配なのですが？

⇒心配ありません。今回の広田小中学校のケースは県内では初の取組であり、新しい小中一貫型として注目されています。それだけに県や市の教育委員会も重きを置いており、予算、環境面の充実に加え、加配教員等の配置についても努力していただいています。

6) 特別支援学級については、どうなるのでしょうか？

⇒特別支援学級は、学年の枠を越えた児童・生徒で編制されていますが、小学校6年生については、中学校校舎の中に特別に1学級設置されますが、必要に応じて小学6年生と中学生と一緒に学習や様々な活動を行うように考えています。担任は小学校6年生学級、中学校学級それぞれにつきますので常に2人体制で指導にあたることができます。

7) 制服等、特別に準備するものはあるのでしょうか？

⇒原則、小学6年生は小学校で使用しているものを継続して使用します。したがって、制服はありませんので今までどおり私服で過ごすことになります。但し、体育館はフローア保護のため専用の体育館シューズを準備していただきます。中学校の指定がありますので、入学前にご案内いたします。

なお、体操服等、6年生の途中で買い換える必要が生じたときは中学校用を購入して使用しても構いません。

8) 私立中学校や国・公立中学校への進学も可能でしょうか？

⇒全く問題ありません。広田中学校へそのまま進学していただくことが一番ありがたいことですが、本人・保護者が望む中学校へ進学できます。

9) P T Aや子ども会はどうなるのでしょうか？

⇒子ども会については、自治会の範疇となりますが、従来どおり変更はありません。また、P T Aにおいては、先々のことについては分かりませんが、29年度は変更なく、小中それぞれ単Pとして活動します。

平成29年度から広田小学校6年生が広田中学校に通学します

小中一貫型広田小・中学校

広田小学校は、児童数が年々増え続け現在児童数が1,000名を越える県内一のマンモス校となっています。このことで、普通教室及び特別教室、トイレ等の余裕もなく、既存の施設では対応できない状況になっています。このような中、平成27年9月、広田地区自治連合会長を会長とした学校・PTA・地域等の関係者からなる「広田小学校の在り方を考える検討委員会」が発足され、過大規模校による課題の解消について市へ要望書が提出されました。

このことを受けて、早急に対応を図るため、平成29年度から小学校6年生が中学校敷地内に増設する校舎で学習することになります。

【本校が目指す小中一貫型教育とは】

平成27年6月24日に公布され、本年4月1日から施行されることとなりました「学校教育法等の一部を改正する法律」を受け、小規模校を中心に全国的にこの小中一貫教育校が増えてきています。

小中一貫教育とは、小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的教育を目指すものです。

広田小・中学校では規模が大きすぎ、様々な課題も考えられますので、小学校6年、中学校3年の制度は維持しつつ、小学校6年生を中学校へのつなぎの学年として捉える「一貫型教育」を目指すことにしました。現行の学習カリキュラムを生かしつつ、一小一中及び小学6年生が中学校施設内で学習するというメリットを最大限に生かす教育に向けて準備を進めているところです。

この取組は長崎県では初めての取組であり注目もされているところですが、当然心配や不安がないわけではありません。

今後も関係の皆様御意見を反映させ、より良い一貫型教育の実現に向けて努力して参ります。どうかこの趣旨をご理解いただき、御支援・御協力をいただきますようお願いいたします。



佐世保市立広田小学校



佐世保市立広田中学校

平成28年9月24日

佐世保市立広田小学校長 沖島 宏幸

佐世保市立広田中学校長 山口 政則

1 年間行事での関わり（案）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
小学校	始業式・入学式 歓迎遠足 避難訓練	家庭訪問 運動会 健康診断	水泳授業	水泳教室 サマーチャレンジ		夏休み作品展 水泳参観	前期←後期→	学習発表会		授業参観		お別れ集会 卒業式 修了式

中学校の説明会
を行います。

小 6 は始業式後、中学校へ移動。小入学式には参加しない

中学校で実施

小 6 の作品も展示

H29 年度は、負担のない範囲で参加。H30 年度からは全面参加

授業参観時に小 6 単独で実施

従来どおり小学校で実施

従来どおり小学校で実施

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
小学校 6 年	始業式・出発式 歓迎遠足 避難訓練	家庭訪問 運動会 健康診断	水泳授業	水泳参観 水泳教室 サマーチャレンジ		体育大会	前期←後期→ 小学校体育大会 文化発表会 修学旅行	学習発表会	駅伝・マラソン	中学校入学説明会		お別れ集会 卒業式

小学校に併せて実施

H29 年度は小中双方の運動会に参加。H30 年度からは中学校に参加。

6 年生も参加可

小 6 も参加

従来どおり実施

距離を短くするなどして参加

小 6 は参加せず

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
中学校	始業式・入学式 歓迎行事 避難訓練	健康診断	中体連 水泳授業	修学旅行 家庭訪問	家庭訪問 質問教室	体育大会	前期←後期→ 一年野活 二年職場体験 文化発表会		駅伝・マラソン	実力テスト 新入生説明会 私立高入試↓		公立高入試 卒業式 修了式

H29 年度は負担を軽減して参加。H30 以降は全面参加

小 6 も参加

距離を短くするなどして、小 6 も参加

2 週時程・日課・授業時間について

○ 開始 8:15 終了 16:45
○ 一単位時間…小45分、中50分授業で、ノーチャイムとする。（☆は鳴らす）

☆ 8:15	<6年生>	8:15	<中学校>
8:25	健康観察等	8:20	出欠確認
8:40	朝の活動	8:30	朝読書
8:50	学習準備	8:40	朝の会
9:35	1時間目	8:45	学習準備
9:45		9:35	
10:30	2時間目	9:45	
10:45	中間休み	10:35	2時間目
11:30	3時間目	10:45	
11:40		11:35	3時間目
12:25	4時間目	11:45	
13:10	給食	12:35	4時間目
13:55	昼休み	13:10	給食
14:10	清掃	13:55	昼休み
☆ 14:15		14:10	清掃
15:00	5時間目	14:15	
15:10		15:05	5時間目
15:55	6時間目	15:15	
16:15	下校指導	16:05	6時間目
☆ 16:45	下校	16:20	下校指導
		16:45	下校(部活)

3 期待される効果

(1) 中一ギャップの緩和	(2) 学習効果	(3) リーダー性の育成	(4) 余裕ある環境の保障	(5) その他
① 中学生との日常的な交流を通して違和感なく中学校生活へ移行できます。 ・学習活動、生徒会活動、部活動等 ② 中学1年生にとっても、小学校で馴染んだ先生が側にいてくれることで安心感があります。 ・小学校の先生7～8人が中学校に常時います。 ③ 小中の先生が連携して児童・生徒理解に応じることができます。 ・入学後も継続した見守りができます。	① 中学校の先生の専門性を生かした授業を受けることができます。 ・H29は英語、音楽、書写を予定 ・算数については少人数授業を予定 ② 中学生の学びを見て、自主的学習習慣が確立できます。 ・毎日の家庭学習の習慣化を中学生に準じて確立できます（自学ノートの活用等）。 ③ 長期休業中の質問教室に参加できます。 ・小中の先生や学生サポーターによる指導で理解を深めることができます。	① 小学校の最高学年としての活動場面も継続します。 ・クラブ活動、お別れ集会、卒業式、子ども会、集団登校 ② 中学生と接することであこがれを抱かせ、自然とリーダー意識が育ちます。 ・学校行事、生徒会活動、各種集会活動 ③ 学級、学年リーダーが育ちます。 ・中学校では、生徒の自主活動が中心になっていきます。	① 小学校6年生の新しい校舎で生活できます。 ・6年生単独利用の理科室、トイレ ・音楽室、図工室、家庭科室も毎時間利用できます。 ・パソコン室は、中学生と兼用ですが調整しながら必要に応じ利用できます。 ② 昼休みの運動場は毎日利用できます。	① 学校全体に活気ができます。 ・小学校6年生が中学校に混じることで人数や学級数も増え活気が生まれます。 ② 部活動が体験できます。 ・6年生の内にいろんな部を体験し、中学校へとつなぐことができます。但し、現存の小学校社会体育活動に支障がない範囲で参加してもらいます。 ③ 小中の先生の連携が強まるとともに、児童・生徒の隔たりなく関わることができます。



